

# Heartful Day

北条高校人権委員会  
平成28年10月19日  
No. 104

## ユニバーサルデザイン

今回のハートフルデーは、「ユニバーサルデザイン」について紹介します。

### ユニバーサルデザインとは？

「ユニバーサルデザイン」とは、障がい者だったアメリカのロナルド・メイ  
ス氏が、提唱した、「できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、  
空間をデザインすること」をコンセプトとした考え方です。

よく似た考え方に、「バリアフリー」がありますが、障がいによりもたらされ  
るバリア（障壁）に対処するのがバリアフリーデザインであるのに対し、ユニ  
バーサルデザインは障がいの有無、年齢、性別、国籍、人種等にかかわらず多  
様な人々が気持ちよく使えるようにあらかじめ都市や生活環境を計画する考え  
方です。

### ユニバーサルデザイン7原則

「ユニバーサルデザイン」には7つの原則があります。

- 1 どんな人でも公平に使えること。（公平な利用）
- 2 使う上での柔軟性があること。（利用における柔軟性）
- 3 使い方が簡単で自明であること。（単純で直感的な利用）
- 4 必要な情報がすぐに分かること。（認知できる情報）
- 5 うっかりミスを許容できること。（失敗に対する寛大さ）
- 6 身体への過度な負担を必要としないこと。（少ない身体的な努力）
- 7 アクセスや利用のための十分な大きさと空間が確保されていること。  
（接近や利用のためのサイズと空間）



【The Center for Universal Design, NC State University】

## 身の回りにおける「ユニバーサルデザイン」

私たちの身の回りには、様々な「ユニバーサルデザイン」があります。どのような点で「すべての人に使いやすい」のか考えてみましょう。

### ①自動ドア



誰にでも簡単に使用できる自動ドアはユニバーサルデザインの代表例といえます。車いすを使用している人だけでなく、両手に荷物を持っている人や子どもを抱えている人などすべての人に便利です。

### ②シャンプーの容器の突起



気を付けてみると、シャンプー容器には、突起がついています。目の不自由な人だけでなく、頭を洗っているときなどの目をつぶっている場合にもシャンプーとリンスを区別することができます。

### ③センサー式蛇口



手を差し出しただけで水が出る蛇口は、手に障がいのある方や握力が弱い人でも、簡単に利用できます。

### ④ピクトグラム(絵文字)



交通施設、観光施設、商業施設など様々な場所で使われているピクトグラムは、海外からの旅行者や細かい文字の見えにくいお年寄りなどすべての人が伝えたいイメージを一目で理解することができます。

みなさんも、身の回りの「ユニバーサルデザイン」を探してみてください。

次回の放送は、11月16日(水)です。お楽しみに…★